

【資料1】各園の今年度目標・特色等（まとめ）

今年度、園として頑張りたいところ、園で目指す特色等

1. 西脇こども園

【園長から】

- 環境構成に力を入れている。
- 今ある環境を生かす。
- 田んぼでの米作りは 30 年近く地域の方にお世話になっている。地域の力がないと出来ないこともある。
- お泊り保育は、コロナを機に、時代の流れもあり「デイキャンプ」になった。時代の流れで変えていっているものがある。
- 運動会では、コロナを機に各学年で行っている。園の評議委員の方にアドバイスをいただき、運動会は「運動あそびの会」としている。それぞれの学年で親子ふれあいができる行事となるよう方針を変えている。
- 40代～50代の先生がいないため、若い世代に負担がかかっている。今の職員で得意なことを互いに生かしながらバランスをとっていきたい。
- 他園や幼児教育センターと連携し、共存できるようにバランスをとっていきたい。

《各担任の頑張りたいこと》

- ・友だちとのかかわりが増えるような保育をしていくこと。
- ・子どもに寄り添い、穏やかに過ごす。
- ・子どもの気持ちに寄り添った保育をしたい。
- ・子どもたちがいろいろなことに興味を持って楽しんで取り組めるような保育をしていけるように頑張りたい。
- ・子どもたちがいろいろなことに興味や関心を持てるような保育をしたい。
- ・幼児なりの声かけやクラスの個性を伸ばすような保育をできるようにしたい。

2. 比延こども園

- 豊かな自然や温かな地域性のもと、様々な体験活動を通して、伸び伸びとした園生活を送る。
- 朝の「リズム体操」により、体幹を鍛え、バランスの取れた体づくりをめざす。また、運動会の表現活動等にも繋がる取組とする。
- 造形活動では、自分の思いを心と体で思い切り表現する。
- 年齢に応じた話し合い活動等により、表現する力や聴く力とともに、自分たちで課題解決に向けて取り組む力を育む。

【園長から】

- 上記の取組が実現できるよう、ソフト面・ハード面での環境整備に努める。
- 職員が同じ目的に向かい、共通理解を図りながら、それぞれが力を付け、その力が発揮できる職場づくりに努める。

《各担任の頑張りたいこと》

- ・子どもたちのトキメキを一緒に見つけていきたい。
- ・子どもたちの気持ちに寄り添った保育をする。友だちとのかかわりが増えるようにしたい。
- ・前年度の3歳児クラスの経験をもとに、保育に取り入れていく。
- ・集団遊びを通して、ルールを守る大切さや友だちと遊ぶ楽しさを伝えていきたい。
- ・子どもたちの興味がわく指導援助。

3. どれみこども園

- 一昨年より、千里金襴大学の中重直俊先生に来て頂き、環境について園内研修をしている。今年はその3年目になり、今までは園全体、クラス全体の環境を考えてきたが、今年「子ども一人一人の発達を促す環境を計画的に構成していく」という方向性を見据えている。
- 昨年園の課題として、地域との触れ合いがほとんど無い…といったところがあり、今年度は地域との触れ合いの一つに、しばざくらの夏祭りに幼稚園の後継として出演する予定。

【園長から】

- 職員は悩みながら保育している。自信をもって保育できるようになって欲しい。

《各担任の頑張りたいこと》

- ・子どもたちの「やる気」を大切にしながら保育していく。
- ・子どもたちが楽しかったと思えるように、様々なことを共に経験できるように頑張りたい。
- ・クラスや周りの職員とコミュニケーションをとり、子どもに合わせた遊びを提供すること。
- ・支援のいる子がスムーズに活動できるような声かけをしていきたい。
- ・自分の気持ちを自分の言葉で相手に伝えられるような機会をたくさん取り入れたい。
- ・先生（担任）自身も楽しめる保育を行うこと。

4. 日野こども園

- 幼保連携型認定こども園となり6年目を迎えるが、乳児から就学前までの子どもたちの教育・保育を担っている。
- この6年間は、子どもたちにとってより良い環境づくりに努めてきた。
- 昨年度は「見守る」をテーマに取り組む中で、保育者の様々な気づきがあり、まだまだ不十分であるが、子どもたちへの関わり方の変化や子どもたちの再発見につながっている。
- 今年度は、「その気（うれしい気持ち）にさせる」をテーマに、子どもたちへの言葉かけを保育者自身が振り返り、子どもたちの意欲・やる気を引き出す言葉かけについて研修を深めていきたい。

【園長から】

- 子ども達にとってより良い環境づくりに努めてきた。
- 昨年度は「見守る」をテーマに取り組む中で気づく事が多かった。声かけをぐっと我慢し見守り課題を見つけていった。
- 今年度は「その気（嬉しい気持ち）にさせる」ための言葉かけを保育者自身が振り返り、子ども達の意欲・やる気を引き出していきたい。
- 言葉かけについて研修を深めていきたい。様々な形のアプローチを考えている。
- 職員も定期的に採用し、(R4、1名・R3、2名)今年度は新卒で男性保育教諭2名を採用している。

《各担任の頑張りたいこと》

- ・子どもたちが、自分でしたいと思う気持ちを大切にしながら、スプーン、フォークを使って食事をする。
- ・身体の使い方等、子どもの発達に合わせた運動遊びを取り入れていきたい。
- ・個別対応しながらの全体的にまとまったクラス作りをしていきたい。
- ・身体を使った遊びを取り入れていきたい。
- ・一人ひとりに合った言葉をかけていきたい。
- ・子どもたちの好きなことや、興味のあることを保育活動に取り入れて興味を深めていきたい。
- ・子ども一人ひとりに合った声かけ、関わりをしっかりとしていきたい。
- ・相手の気持ちを知り、自分たちで解決したり、話し合ったりできるクラスにしていきたい。
- ・安心して過ごせる環境づくり。

5. かすがこども園

- 子どもたちと共に先生の求める資質を伸ばしてもらいたい。目的をもつことで主体的な研修をしていきたい。
 - 遊びの中で子どもたちの成長を促す方法を考え伸ばすことが「子どもたちの笑顔」に表れてくると考えている。
 - 特別支援が必要な子どもたちの理解はすすんできているが、まだ基本的な知識不足だと思う。研修で向上を図りたい。
 - 職員の働き方で精神的な余裕を作っていくことで、「意欲や達成感」をもってほしい。
- 【園長から】
- 新年度始まって2か月が経ち、子ども達は慣れてきている。
 - 先生が何を望み、何を伸ばしたい、と思っているか。
 - 目的をもって、主体的に研修してほしい。
 - 遊びをどう広げるか。
→自分がクラスの子をどう伸ばしたいのか、を考え保育を展開して欲しい。
 - 子どもの成長を見ていきたい。
 - 特別支援のことも基本的な部分を、どう伸ばしていけばよいか考えないといけない。(教師が)
 - 園長としては、職員の時間の余裕をいかに作っていくのか、ということを考えている。

《各担任の頑張りたいこと》

- ・大人とのかかわりが最も重要な時期だということを理解し、子ども一人一人と丁寧なかかわりを大切にしながら、一人一人の発達に合った保育ができるように頑張りたい。
- ・子どもたちの成長に合わせて、興味もてる遊びや保育を行う。
- ・一人一人の様子や遊びをしっかりと見て子どもたちの興味や、やりたい気持ちに寄り添って遊びを十分に楽しめる環境を整えながら保育者や友だちとかかわる楽しさを味わえるようにしていきたい。
- ・子どものやりたい気持ちや不安な思いを受けとめて、一人一人丁寧にかかわり、それぞれに合った遊びや援助を行えるようにしていきたい。
- ・一人一人の発達に合わせて援助方法を工夫し、みんなが楽しいと思う保育に取り組みたい。
- ・一人一人の気持ちに寄り添いながら、子どもたちの興味のある遊びを広げて発展させていき子どもたちが楽しめるようにしていきたい。
- ・子どもたちと一緒に遊びを考え深めながら自分たちで進められるよう保育していけるよう頑張りたい。
- ・子どもたちがやりたいことに保育者が十分寄り添いながら、興味をもった遊びが十分楽しめる環境を工夫して保育していきたい。
- ・子どもたちが自らやりたい遊びを見つけ満足して遊び、個々の成長からクラス全体の成長につながるようにしていきたい。
- ・様々な場面で柔軟に対応したい。
- ・各保育者が相談しやすい環境づくりと、固定概念にとらわれず、保育者それぞれが自分の個性を生かした保育ができるようにサポートしていきたい。

6. つまこども園

【今年度のつまこども園のテーマ】 いきいき 笑顔 つながる心 広がる信頼の輪

- (1) 子ども・保護者・同僚の声に耳を傾け、しっかり相手を見て、互いの信頼を深めていく。
- (2) 明るい声の出る子どもたち（⇔職員）をめざす。
- (3) 自然観察・体験的な活動を充実していく。（園外学習のバス利用）
- (4) 職員の実践力の源（子どもの育ちを見取る力⇒それを描き伝える力）の向上をめざす。

【園長から】

- 「10の姿」を意識し、小学校へ円滑につなぐことができるようにしたい。
- 子ども・保護者・同僚の声に耳を傾け、互いの信頼関係を深めていきたい。
- 園バスがないため、園外に出かけることが難しい。今年度は電車やバス（社協や市バス等）を利用して、自然観察や自然とのふれあいができるように計画している。
- 安全・安心な保育を心掛けている。
- 特別支援では、支援児のエピソード記録をもとに研修をしている。

《各担任の頑張りたいこと》

- ・子どもの発達に応じた玩具を作りたいです。
- ・室内でも体を動かせたり、落ち着いて遊べる環境を作っていきたいです。また、子どもが、視覚的にも楽しい、やってみたいと魅力を感じる環境作りも考えていきたいです。
- ・子どもたちの「やりたい！」という気持ちを大切にしながら、一人一人と丁寧な関わりができるようにしていきたいです。
- ・子どもの気持ちに寄り添い、興味に合わせて遊びを計画していきたい。
- ・季節を感じる遊び、絵本をとりいれていきたい。
- ・年長組で行事ごとが多いので、何事も楽しむ気持ちを大切にしながら子どもたちと頑張りたいです。

7. 芳田こども園

【園長から】

- チームワーク力を高めるための体制変更。
 - ・本年度から、副園長を置き園長・副園長・主幹・副主幹の4人で対応することになった。園児に寄り添えるよう保育をしてきたが、保育士間の意思疎通や思いが通じず、ちぐはぐさが見られていたので、特に課題としていた職員間の情報共有に力点を置いた方策を試みている。
- ①園長・副園長・主幹・副主幹の一日の園児の出席状況、行事などを朝に打ち合わせる。
- ②クラス担任と主幹で毎朝一日の出席状況や園児の様子、親からの話などを共有していく。
- ③月初めに行う職員会議を担当の職員会議・副担任の職員会議・短時間職員の職員会議を副園長、主幹、副主幹で手分けして行い、月の行事や取り組みの共通理解を進めている。
- ④年間の行事への全職員の関りを深めるため、職員を4グループに分け、各月の行事と誕生日会の計画・進行を進める。グループの話し合いや準備もみんなで配慮して時間を作っている。
- 地域や保護者、関係機関とかかわりをさらに深めるよう模索する。
- ⑤健康教室（マザースマイル）の保護者参加を祖父母参加の会と保護者参加の会に分けて実施。
- ⑥地域の人への誘いにより応えられるようになっていく。旬菜館、ふれあい直売所、田んぼでの泥んこ遊び、いちごの提供、れんげの種まき。警察の指導、見守りサポート等々、地域とのかかわりを模索していく。
- 職員の資質向上のための研修機会を充実。
 - ・研修についてアドバイスがほしい。

《各担任の頑張りたいこと》

- ・子どもが興味をもつ遊びに寄り添いながら環境構成を工夫する。
- ・ままごと遊びでの環境構成を工夫する。
- ・子どもの興味や関心に沿った遊びの提案、環境作り。
- ・保育環境を整え、個々に合わせた声かけの仕方を工夫する。
- ・子どもが自分たちの自己肯定感を高められるような言葉かけ。
- ・一人ひとりが意欲的に活動に取り組めるような言葉かけをしていきたい。

8. 黒田庄こども園

【園長から】

- ① 異年齢集団活動の充実
 - ・コロナの中で、できなかったことを取り戻したい。
 - ・異年齢での活動を通して、手本になったり、憧れたり。
- ② 保護者支援の徹底
 - ・支援を手厚くしたい。子育て不安を抱えている親が多い。
 - ・温かい関わりをしていきたい。
 - ・子育て支援サークルを活用し、親同士の交流を計画している。
- ③ 職員の資質向上
 - ・事例研修はもちろん、出かけて行つての研修を積極的にしたい。また、講師を呼んで、園でも研修をしていきたい。
- ④ 地域への情報提供
 - ・黒田庄の広報の中で情報発信はしている。
 - ・それプラス、「力を貸してほしいこと」も発信したい。

《各担任の頑張りたいこと》

- ・季節にあった遊びや子どもたちの好きなことを持続的に遊び続けられるように考えながら、保育に取り入れていきたい。
- ・子どもがじっくり遊び込めるように、季節感を取り入れ、発達や興味に合った環境構成を工夫していきたい。
- ・一人一人が自信を持って生活できるように、頑張りを認めたり、できた時には褒めたりし、自己肯定感を高められるような言葉がけを心掛けていきたい。
- ・10の姿を意識したドキュメンテーション作り。
- ・遊びが発展していくような環境構成や働きかけを意識して頑張りたい。
- ・月1回の職員会議だけでなく、未満児・以上児会議や朝礼などを通して園全体の保育に目を向け、全職員が連携のとれた保育を行えるようにしたい。